

神保原駅北 町民ワークショップ通信

神保原町地区 駅北まちづくり事業

第2号

発行者：上里町

事務局：上里町役場 まちづくり推進課 都市整備係

TEL : 0495-71-6511

第2回も、多くの皆様
にご参加いただきました！



各回の検討内容

第2回については、「駅北を話そう！」をテーマに、計24名の方にご参加いただきました。

※開催終了
第1回 駅北を歩こう！
4月10日(日)
9:00~12:00

現地を歩き、今の駅北を確認します。
そのうえで、「良い所」、「気になる所」
について共有します。



今回
第2回 駅北を話そう！
5月15日(日)
10:00~12:00

駅北でどのように過ごし、どのように
暮らしたいか話し合います。



第3回 駅北を描こう！
5月29日(日)
10:00~12:00

第2回で話し合った結果をもとに、駅
北の将来像や、やりたいこと・できそう
なことについて話し合います。



第2回 町民ワークショップの検討ステップ

STEP1 : 目的から、空間のイメージを膨らませる

駅北の将来像 賑わいとゆとりを感じ 歩いて楽しむ「まちなか」
～ひと・まち・駅をつなぐまちづくり～

それって、どんな場所？

STEP2 : 使う人のことを考え、しかけを考える

①誰のために？

②どんなしかけが
必要？(ハード&ソフト)

STEP3 : まちづくりのテーマを考える(自由に！)

STEP1・STEP2をひとことでまとめると…？

各班の検討結果(概要)

A班 まちづくりのテーマ

まち全体が公園として楽しめる街

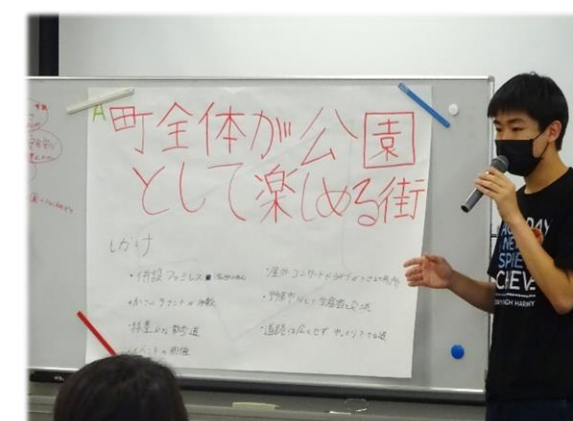


誰を対象に？

- 様々な世代の、町内に住んでいる人
- 高齢者の方
(免許返納を見据え、歩いて暮らせるようなしかけ)

どんなしかけが必要？

- 公園と併設されたファミレス
- 小さいテナントなどが多数
- 緑豊かな散歩道
- イベントの開催(野菜市、小麦、屋外ライブ)
- 道路は広くせず、ゆっくりできる道に
- 高齢者向けの訪問医療、タクシー等



B班 まちづくりのテーマ

今住む町民が住みやすく、過去を伝承し、町外の人にも興味を持てる街

誰を対象に？

- 現在駅周辺に住んでいる人
- 町内に住んでいる人
→魅力が高まれば、来訪者も増える
- 活気づくりという観点では、学生
- 子供から大人までの全世代の方

どんなしかけが必要？

- 年齢に関係なく、楽しめる公園
- 歴史を伝承できる資料館
- 農産物を活用した商店
- 緑のある空間、景観を整える
- 自動車進入禁止



各班の検討結果(概要)

C 班 まちづくりのテーマ

毎日行きたい、生活の一部となる場所『こむぎっちプラザ』

誰を対象に？

- 家族
- 駅の南側に住んでいる人
- 町外から訪れる人
- 町内に住んでいる人



どんなしかけが必要？

- 喫茶店などの商いが成立するような場所
- 上里町にしかない場所
- イベントができるような場所
- 駅の南北の行き来をしやすくする



D 班 まちづくりのテーマ

自然を感じ、子供から大人まで 誰もがくつろげるまち

誰を対象に？

- 町に住んでいる人
- 他の地域や他の県から訪れる人
- 町外から訪れる若者
- 親子、大人、学生
- 子育て家族(親子)
- 駅を毎日利用している学生・社会人
- 高齢者の方や、体の不自由な方



どんなしかけが必要？

- カフェと図書館が融合したような場所
- 地域の人と交流やワークショップができる場所
- 若者向けの商業施設
- 樹木や花が楽しめる公園や川遊びができる場所
- 日常利用できる場所(スーパーやコンビニ)
- 歴史を生かしたカフェ等
- バリアフリー化(広場や駅の改善等)



E 班 まちづくりのテーマ

みんなが利用したくなる、歩きたくなる場所
～ゆったり・のんびり、わくわく、安全安心～

誰を対象に？

- 町内に住んでいる人
- 駅周辺に住んでいる人
- 歩行者
- 若い人たち
- 幼い子供や、学生、高齢者の方
- 交通弱者や障がいのある方



どんなしかけが必要？

- おまつりや行事、ゲームやスタンプラリー、キッチンカーやフリーマーケット等
- 手芸やワークショップなど、特技を生かせる場所
→交流できる施設(例:はにぼんプラザ)
- 健康増進器具や、自然を楽しむための公園
- 健康増進のためのアプリ
- 街灯設置、歩道を広くとる等、安全安心の取組み



各班の意見の共通点

【まちづくりのテーマ】

- 歩いて楽しめるまちづくりが必要
→安全性の確保や、生活利便性の向上、誰もが活躍できる場(個人の趣味や特技を生かせる場)を創出し、それぞれをリンクさせる。

【誰を対象に？】

- 駅周辺に住んでいる人や、上里町民をターゲットに、満足してもらうことが必要
→結果として、町外からの人口流入や来訪者の増加にもつながっていく。

【どんなしかけが必要？】

- まちの良い所(まちなかの緑・水資源や製糸工場などの誇れる歴史)を生かしたまちづくりが必要
→例①:絹織物などの小物をテーマにしたイベントの開催や、空間の創出。
→例②:水辺空間をきれいにし、楽しめる場所にする。

次回の検討内容

第3回「駅北を描こう！」

- ① まち全体の将来像について
- ② やりたいこと・できそうなことについて

